

# まつだい

## 人権教育・同和教育講演会・学年授業



【講演会の様子】



【学年別授業の様子】

松代高校では、10月から11月にかけて、3週連続で人権教育・同和教育を取り組んでいます。今年度は、10月30日（木）に翌週に計画している講演会に向けた事前学習に位置づけて、人権と部落差別についての基本的な学習を行いました。

11月6日（木）には、講師をお招きして全校生徒を対象とした講演会を実施しました。講演会では、「新潟県内の差別問題～差別をなくすために～」と題して、ご自身のこれまでの活動を中心としたお話しをお聴きし、差別の実態について学ぶとともに、生徒一人一人が差別を自分事として考えるとても貴重な機会となりました。

この講演会の翌週12日（水）には、事後学習として位置づけ、1年生は「さまざまな差別について」、2年生は「就職差別について」、3年生は「結婚差別について」をテーマに、これまでの学習をふまえながら、様々な人権問題についての知識や理解を深めました。

## 本校20期生の皆様が来校されました

去る11月4日（火）、松代地域にお住まいの方も含め、県内外から本校20期生総勢11人の皆様が来校されました。今回の訪問は、同窓会の開催に合わせ、遠方から参加される方への特別企画として計画されました。訪問された皆様からは、「寮の建物そのものは残ってるね」、「当時は4クラスだった」などなど、当時を思い出し、懐かしみながら校舎内外を見学されました。

思い出話に花を咲かせる皆様の笑顔がとても素敵でした。



【来校された20期生の皆様】

【HP】 <http://matsudai-h.nein.ed.jp/>

学校の情報、緊急連絡等を掲載しています。

【note】 <https://matsudai-hs.note.jp/>

日常の学校生活を紹介しています。



〈ホームページ〉



〈note〉

## スマホマナー講演会を開催



【講演の様子】

11月26日(水)、十日町みと法律事務所より関 雅夫様を講師にお迎えし、スマホの正しい使い方を学び、安全・安心して利用できる知識とスキルを身につけることを目的にご講話いただきました。近年、スマートフォンは生活に欠かせないツールとなっていますが、その一方で、SNSの不適切な利用や個人情報の流出、誹謗中傷など、さまざまなトラブルが社会問題となっています。今回の講話では、こうした現状を踏まえ、法律の観点からスマートフォン利用に潜むリスクや注意点をわかりやすく解説していただきました。関様からは、実際に起きた事例を交えながら、「ネット上で匿名で発信しても、発信者は特定できる。」「SNS広告は見ない。安易な儲け話にはのらない。」など、具体的なお話しをしていただきました。生徒たちは、スマホの便利さと同時に、使い方次第で大きな問題につながることを改めて認識し、真剣な表情で耳を傾けていました。

## 生徒指導に関する職員研修を実施



【研修会の様子】

本校では、生徒指導に係る教員の対応力の向上を目的に生徒指導研修を年3回実施しています。12月21日(金)に実施した研修会では、先日、本校を会場に、校長、教頭、いじめ対策推進教員、生徒指導主事、養護教諭、各学年主任が参加して行われた「令和7年度いじめ対策総点検」での事例検討での題材に基づき、研修を行いました。当日は、生徒指導主事の中村教諭が全体の進行を務め、各学年主任が学年別に分かれたそれぞれのグループのファシリテーターとして、各場面において必要な視点や対応ポイントについて協議を行いました。協議の後、各学年で話し合われた内容について発表するとともに情報共有を行い職員の対応力の向上に努めました。

## まつだいプロジェクト 〈松代の棚田〉

松代高校では、まつだいプロジェクトと題して地域探究活動に取り組んでいます。松代の棚田に注目した班が、もっと松代の棚田を知ってもらうためにnoteを利用して発信しました。

私たちは5人の班で、棚田について調査することにしました。7月と9月に地域の農家さんである小海さんという方に会って話を聞いてきました。小海さんが行っている無農薬・無肥料田んぼについて2つ紹介します。

無肥料と肥料ありの米の粒の違いを紹介します。

### 〈味の違い〉

普通のお米よりも上品な味わい

### 〈穂の数〉

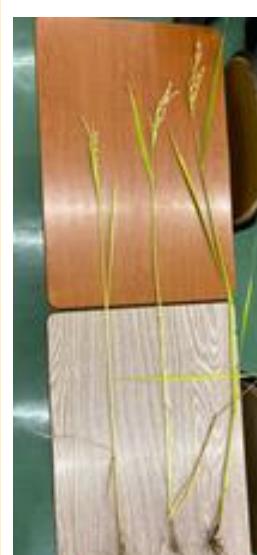
- ・肥料あり 146粒
- ・無肥料無農薬を始めて2年ほど 67粒
- ・無肥料無農薬を始めて8年ほど 107粒

### 〈特徴〉

- ・普通の稻と色が少し違う

### 〈課題〉

- ・雑草や病害対策にかかる膨大な労力
- ・担い手不足



【説明を受ける様子】

右：肥料あり

中：無肥料2年

左：無肥料8年